

薬、いくつのんでいますか？ 重複服薬

複数の医療機関にかかっていると、同じ効能の薬が重複して処方され、服用してしまうことがあります。これが、重複服薬です。

ケース
1

頭痛で
痛み止めを
もらう



後日

腰痛で
整形外科にかかり、
薬が処方された



痛み止めが
重複

ケース
2

胃薬を
内服中



後日

別の病院で
胃に負担がかかる薬が
処方され、
胃薬と一緒に
処方された



胃薬が
重複

重複服薬が起こると、薬の効き目が強くなりすぎたり、副作用を起こす可能性が高まるなど、体の不調を招いてしまうことがあります。

また、無駄な医療費が増えてしまうことにもなります。

適切な受診

使っている薬は
必ず伝えましょう

例

花粉症で
耳鼻科



皮膚科でアレルギー薬を
処方してもらっています。



なるほど、
アレルギー薬は
重複しないように
しましょう。



重複服薬を防ぐ薬の賢い活用方法

- ✓ かかりつけ薬局／薬剤師をもって、服用中の薬を把握してもらう
- ✓ 「お薬手帳」は一つにまとめ、医療機関に行く際は必ず持参する
- ✓ 薬の種類が多い、飲みにくい、飲み忘れが心配、などの困りごとがあれば、医師や薬剤師に相談する
- ✓ 薬が余っているときは医師や薬剤師に伝える
- ✓ サプリメントを使っている場合は、医師や薬剤師に伝える

● 「かかりつけ医」と「セカンドオピニオン」 ●

自己都合で複数の医療機関にかかるはしご受診も重複服薬につながります。医師とのコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことが最適な診断や治療につながります。なんでも相談できる「かかりつけ医」をみつけておくとう安心です。

主治医の治療方針以外の治療法について知りたい場合は「セカンドオピニオン」を利用する方法があります。主治医にその旨を伝えて、紹介状や検査結果などの必要な情報を提供してもらい別の医療機関を受診します。同じ検査や同じ薬の処方を繰り返すことなく、少ない負担で別の意見をきくことができます。